

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	上峰町立上峰中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	・心の教育において、校内研究で道徳科の研究を行うことを通して、95%の教員が指導方法の改善ができたと回答し、91%の生徒が道徳の授業は生活の役に立っていると答えていることから、道徳科の学びが成果として表れたものと考えられる。
------------------	--

2 学校教育目標	<p>心豊かにたくましく生きる生徒の育成</p> <p>～自ら考え、主体的に判断し行動する中学校生活を通して～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 個々の基礎学力向上のための効果的な指導方法改善（特別支援教育課程、端末の活用）</p> <p>② 生徒の学びを止めない「安心・安全」を最優先した教育環境づくり（感染対策・支援、不登校対策・支援）</p> <p>③ 道徳教育の充実による豊かな心と社会性の育成（道徳科を要とした有機的な連携）</p> <p>④ 開発的な生徒指導の展開〔「生徒指導の3機能（出番・役割・承認）」を基にして〕（仕組む・育てる生徒会）</p> <p>⑤ 全教職員によるフォローシップと創意的で効率的な学校経営〔「働き方」改革へ〕（持続可能、断捨離）</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○不登校生徒や新型コロナウイルス感染症関連の臨時休業等対応として家庭学習や補充学習の充実を図る。	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上 ○生徒や保護者対象の学校評価(外部アンケート)で、「家庭学習の習慣が身につけている」の項目で、生徒、保護者ともに80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・予習を意識した家庭学習の課題づくりの工夫研究。 ・生徒会図書委員会との連携による図書館利用の充実。 ・タブレットドリルの活用			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対応等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	・学校行事等と連携した道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートの実施 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に1回以上行う。							・道徳教育推進教師 ・研究主任 ・人権・同和教育担当 ・学年主任 ・生徒指導主事
●健康・体づくり	安全に関する資質・能力の育成 ○新型コロナ感染予防に向けた共通実践	児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○本校生徒及び職員から感染者、クラスターを発生させない。	・生活事故や交通事故における現場における事故検証を行い、職員へ注意喚起する。 ・交通教室や防犯教室、避難訓練の実施、各施設の安全管理点検及び補修。 ・学校内外の危険箇所マップの活用、緊急メールによる情報の速やかな発信。 ・立ち番指導による生徒の登下校時の安全確保を行う。 ・感染予防策を通知やマチコミで注意喚起を促し、オンラインでの学習や健康促進に向けた過ごし方を情報配信する。							・安全指導担当 ・保健主事 ・養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の確認 ・退勤時刻時の呼びかけ							・教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員70%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、情報共有 ・特別支援員の担当を決め、様々な支援方法の模索、より多くの情報収集・共有			
○生徒会活動の充実	○生徒会の自治力の育成	○出番・役割・承認(価値付け)を具現化する。	・専門委員会による定例活動の徹底 ・毎月の中央委員会、専門委員会、生徒集会の実施 ・ボランティア活動の実施 ・実行委員会の設置(体育大会、文化発表会)							・生徒会担当

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--